

## 【令和4年5月18日第76回対策本部会議決定事項（「大阪モデルの見直しについて」）】

◆ ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。

### 【大阪モデルの状況】

◆ 7月10日に病床使用率が「警戒（黄信号）」の目安に到達。

	警戒の目安	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10
1. 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	明らかな増加傾向	165.10	190.30	217.50	244.98	275.28	309.56	344.41
2. 病床使用率	20%以上	14.6%	15.4%	15.9%	16.8%	18.7%	19.4%	20.6%
3. 重症病床使用率	10%以上	0.5%	0.8%	0.7%	0.8%	1.3%	1.3%	1.2%
信号	1かつ2または3の目安に達した場合 黄							

○6月25日より新規陽性者数前週増加比が1を超過（7月10日時点で2.17倍 ※第五波の最大感染拡大速度と同速度 第六波は8.92倍）。

○オミクロン株亜系統（BA.5系統又はBA.4系統疑い）への置き換わりが進み（6/20～26 約8.6% → 6/27～7/3 約26.9%）（※）、

夏休みやお盆等による感染機会の増加による影響等から、当面、感染拡大が続くことが懸念される。

※国アドバイザーボードでの分析：BA.5系統への置き換わりは7月第1週で0.24% → 4週間後にほぼ置き換わりと予測（※直近及び将来的な推定の不確実性が高いとされる）

⇒現在の感染拡大状況等をふまえ、病床使用率の目安到達をもって、「警戒解除（緑信号）」から「警戒（黄信号）」に移行する。（適用日：7月11日）